

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

スタッフ個別評価・・・・・・・・・・（ス-①～⑨）

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 4 月 15 日 (17:15~18:15)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 5 名 (意見確認 15 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9 人	5 人	1 人	0 人	15 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">一日の中で日勤や早番など各業務が「本人の様子」を入れるよう習慣づけ、すぐに記録を入力できない時はメモに残して詳細を忘れないようにする。また、当日出勤している職員同士で情報の共有を図りながら、忘れがないようお互い確認し合えるようにする。家族が来訪した際は担当職員が関わりを持てるように各職員で業務のフォローをする。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">家族対応で職員が対応した際のフォローはできている。日内変動の記載や他職員と情報共有することの不十分さが前回の問題として挙がったため、以前より意識して行うことができた。利用者の支援内容に変化が生じそうな時はカンファレンスの調整や、ケアマネ、職員間で意見の確認ができている。職員によって各情報の共有すべき優先内容が違う場合もあるため、多くはないが不十分な場合もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	9 人	5 人	1 人	0 人	15 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5 人	9 人	1 人	0 人	15 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	10 人	5 人	0 人	0 人	15 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	9 人	4 人	1 人	1 人	15 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">記録もその都度残し、申し送り時やカンファレンス時に他スタッフに共有している。利用開始前に大体の基本情報を職員間で共有し、本人、家族の思いを引き出せるように意識し、そのうえで本人にとってどのようなサービスが必要かを、日常生活を通して見出せるよう対応している。利用間もない頃は特に声掛けを多めにして信頼関係が構築しやすいようにしている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">シフト制でもあり出勤状況により情報収集量が少なく不安ながら仕事をしている時があった。伝え不足、確認不足等により記憶できていない事がある。そのため情報共有が不十分な時があり、他職員からの助言で気付く事がある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">全体会議等で利用者数名のモニタリングを行うことで課題を明確化する。また、文章に残すことで確認できる機会を職員全員が持てるようにする。必要な事項は記録に残すこと、申し送りなど口頭でも伝えることを周知し徹底を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 4 月 17 日 (17:00~18:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 6 名 (意見確認 15 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	11 人	2 人	1 人	15 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 担当をはじめ、関わる全利用者の個別援助計画書の把握に努めるため、①本人のやりがいに感じることや、その人のやりたいことについて些細な言動を共有できるように記録に残し、個別援助計画書に反映できるようにする。②他職員間にて本人の「したい」について共有するために、個別援助計画書作成後の専用ファイルの更新を徹底する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 個別援助計画書更新後の専用ファイルを活用することにより、担当以外の利用者の情報が分かるようになった。 個別援助計画書作成時、本人のニーズや、やりがい等反映される様意識して作成できている。 変化や共有したい出来事は記録に残し、利用者の日々の言動や様子など職員間で共有し、その人に合ったかかわりができるようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	4 人	9 人	2 人	0 人	15 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4 人	10 人	1 人	0 人	15 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3 人	11 人	1 人	0 人	15 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	10 人	4 人	1 人	0 人	15 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 長期、短期目標を確認し、ニーズや自己実現へ向けた援助計画の作成や支援を行っている。 自分でできる事をしていただくことで、日常生活の中での役割、目標達成のための協力を努めている。 カンファレンスを行い、より有効的なケアに関して他職員と情報共有、意見交換など行っている。 レクや普段の様子、会話から本人の希望を汲み取れるよう努めている。 個別援助計画書を必要に応じて確認し、把握できるよう心掛けている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 自分の担当への関わりで一杯になることもあり、自分の担当以外の利用者全員のニーズの把握は完全とは言い難い。 本人との関わりの中で意識しているが、目標通りのケアができていないかはその時の状況にもよる。 他方面から見て色々な意見を柔軟的に考える力が足りない。 口頭やケース記録、日々の申し送りでは変更が周知されているが、保清や食形態の更新など、個別援助計画書が現状に合っていないことがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> その時の気分や体調に合わせた目標を設定して支援に繋げていく。内容はモニタリングを行い、個別援助計画書の作成に繋がられるようにする。(必要に応じて既存計画書の内容を見え消して更新もする) 利用者のその時の状況に合わせた対応ができるように色々な意見を取り入れ、柔軟な支援ができるようにしていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年4月21日(17:00~17:45)

3. 日常生活の支援

メンバー 4名(意見確認15名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	11人	2人	1人	15人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">基本情報の充足に向けて、まず各担当が改めて内容の確認作業(主にADL、IADL、認知面)を年2回(4月10月)実施する。認知症の症状、ケア方法、理解度向上に向け、認知症関連の内部研修の企画、実施。外部研修の参加、伝達講習の充実を図る。本人の気持ち、変化について些細な事でも記録の「本人の様子」を活用し、より共有しやすくする。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">内部・外部研修を行うことや、ケア方法の理解度向上についてミニカンファレンスを行い、研修を受講した職員は全体会議で発表し職員で情報共有ができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0人	7人	8人	0人	15人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	11人	4人	0人	0人	15人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2人	10人	2人	1人	15人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	10人	5人	0人	0人	15人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6人	8人	1人	0人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">本人や家族に聞き取りを行い、レクでのやりとりを通じ生活歴等に照らし合わせて、普段と異なる様子等を記録に残し情報共有ができています。本人の状況に合わせて、身体状況や精神状況に応じて状態の変化があれば、臨時で通いや訪問の増回等で様子観察し日勤リーダー、看護師に報告し対応している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">生活状況の把握を10個以上となると多く、自分の担当利用者については比較的覚えやすい点があるが、漠然とは理解していても全員分の把握となると難しい。また、気持ちを受け取ることができていても、全体への共有まではできていないことが多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">定期的に家族と連絡を取り、情報の共有を行い、「以前の暮らし方」が10個以上把握できるように努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年4月22日(17:15~18:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 5名(意見確認15名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	4人	4人	15人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> 民生委員や地域資源について、配布された資料をもとに自己学習を進めて、職員で内部勉強会を開催してより一層理解が深められるようにする。 短期目標の更新時などの際に各担当が家族に聞き取りして暮らしの情報シートの作成ができるようにし、利用者支援に活用できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> 民生委員や地域資源について、資料や職員主催の内部研修に参加し、一定の学びができた。しかし、学ぶ回数が多く持てなかったため、理解できていない部分もある。 短期目標の更新時に意向確認などやり取りは行うが、暮らしの情報シート活用の意識が足りず更新には繋がられていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1人	11人	3人	0人	15人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	6人	8人	0人	1人	15人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2人	10人	3人	0人	15人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3人	3人	6人	3人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用前にアセスメントシート等を確認し、生活歴や人間関係を把握できるようにしている。 以前の生活スタイルや身内、友人等の話題を現在の生活の活動意欲に繋がるよう声掛けをしている。 家族には、日用品を依頼する際などに近況報告や様子を伝えている。 訪問以外に様子を確認しに行くこともあり、住宅スタッフからの情報も共有している。 地域のボランティアに来てもらい、補助的な活動をしてもらっている。また、紙芝居の方にも来ていただいている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 本人の疾患などにより生活スタイル、人間関係、我慢している部分など全てを引き出せていない。 主に外部利用者は自宅での過ごし方を把握できていない利用者もいる。 個々の利用者の生活にとって民生委員がどのように活用されているかイメージが不足している。 地域資源の把握、活用について、個々の利用者の生活で地域資源をどのように活用できるか認識の不足がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 本人の普段の生活の様子や言動から困っていることや不足していることを引き出すよう意識する。また、家族にも尋ねるようにする。 自宅での過ごし方について、家族来訪時や送迎時に聞いたり、送迎車内で談笑がてら本人にも聞く。それを記録に残し共有する。 民生委員や地域資源について、引き続き自己学習や勉強会開催を企画し、理解が深まるようにする。 「地域資源一覧表」を作成し、提案や活用をしやすくする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年5月2日 (17:00~18:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 6名 (意見確認 15名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10人	5人	0人	0人	15人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ5類移行に伴い、ボランティアなど地域資源活用を再開できるようにする。 ・「通い」や「訪問」は本人にとって無理のない範囲で提供できているか評価を継続する。「宿泊」は家族の負担軽減ができるよう、積極的利用の支援をしていく。 ・利用者の変化については職員同士コミュニケーションを図り担当以外の利用者に対して「変化」と感じた時は上司や担当者に報告し、記録に残す事で職員全体が共有できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナも5類になり、体操教室や紙芝居のボランティア活動等の地域資源活用ができています。 ・居室で過ごすのが難しくなっている利用者や体調の変化、様子を見守りが必要な利用者に対し、通い日の増回等の対応ができた。 ・体力的に負担あるのなら通いを短時間利用できるようにしている。 ・宿泊など家族の予定に応じて可能な限り柔軟に対応し、家族の負担軽減に繋げている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5人	8人	1人	1人	15人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	11人	3人	1人	0人	15人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	9人	6人	0人	0人	15人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	9人	6人	0人	0人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ陽性が出た場合は入館制限がかかる時もあるが、セブンイレブンや水谷商店、ミューテ、介護タクシー等の利用ができています。 ・外部利用者本人、または家族の要望を受け、状況、ニーズに合わせて宿泊サービスを組み合わせできている。 ・「本人の様子」で記録に残す事と、朝の申し送り時に職員間で共有できている。 ・介助に拒否が見られる時は無理をせず時間をおいて試みたり、職員を代えて行ってみたりと工夫している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが発生し感染拡大防止のためカンファレンスや会議ができない事もあった。 ・家族の負担や本人の安全を考えると家族の希望を優先する事も多く、家族の希望に添っていても本人の気持ちには添えていないかもしれない。 ・新型コロナが5類へ移行したとはいえ、依然として施設内感染は起こっており、地域資源関連の活動の足枷になっている。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き通いや訪問が本人にとって無理の無い範囲で提供できているか、不足が無いかを定期的に確認をしていく。 ・今後も感染予防に努めながら地域資源を活用していく。また、町内や包括等から新たな資源が無い情報提供を仰ぐ。 ・本人や家族の話に耳を傾け、状況に合わせた対応を心掛けていく。 ・ミーティングやカンファレンス、記録の記載を継続し、職員間の情報共有ができるようにしていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年4月30日(17:00~18:00)

6. 連携・協働

メンバー 5名(意見確認15名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	10人	1人	1人	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ5類移行後は行動様式も見直されると思われるため、外部との交流や地域や団体の活動への参加を前向きに検討していく。 ・担当の利用者で自分の勤務が合った時は担当者会議に出席し、会議に参加できない時はケアマネと連携を取り情報を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・5類移行後になっても、コロナ陽性が出た時は感染予防対策として外部からの訪問の制限や家族の面会をロビーで行う等はあるが、町内会の夏祭りへの参加や、地域のボランティア受け入れも再開でき、少しずつではあるが交流が再開できている。 ・シフト制で担当の職員が担当者会議に不在な事が多いが、会議前後に口頭や書面で情報共有できるようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1人	3人	3人	8人	15人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3人	2人	1人	9人	15人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1人	4人	1人	9人	15人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3人	5人	1人	6人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・担当会議への参加機会があった。 ・近所に住む方が定期的にボランティアに来られるように調整している。 ・医師、看護師、薬剤師、後見弁護士などと情報共有、入院や受診の調整、体調報告や相談を行い連携を取る事ができた。 ・地域運営推進会議が開催できるようになり、不参加時も議事録を確認できている。 ・夏祭り運営の手伝いが必要か確認し、希望している利用者と共に夏祭りや防災訓練に参加した。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・5類になったもののコロナ陽性者が定期的に出たため、地域に対しての声掛けなど積極的にできず来訪の機会を作れなかった。 ・社長やケアマネに任せてしまい、他機関との会議やイベントに参加できていない。 ・会議や行事に参加する機会が少なく、議事録は確認しているが会議には出席はできていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・各会議が「何故必要なのか」を理解して学びを深め、各会議への積極的な参加や意欲を持つことや、個々のスキルアップにも繋げるため、各会議の種類や内容についての学習会を開催する。どうしても参加できない場合は書面で確認できるようにする。 ・地域運営推進会議に介護職員も輪番で参加する体制を継続し、町内や包括支援センターとの会議に参加できるようにする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年5月12日(17:15~17:45)

7. 運営

メンバー 4名(意見確認15名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	3人	4人	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍以降の地域推進運営会議を集合形態で行えるか検討し、開催時には管理者以外の職員も持ち回りで参加して地域の方と顔の見える関係が築けるようにする。 ・地域の方から意見や苦情が出された場合、どのようにして職員に通達されるのかをフローチャート化して周知、把握できるようにする。 ・地域との協働について、当事業所の具体例をもとに「地域協働一覧」を作成し把握できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域推進運営会議を集合形態に戻し、まだ参加できていない職員もいるが、輪番で職員も参加できるように調整している。また、会議内で事業所の活動報告など意見交換や、地域の方との顔の見える関係も築けている。 ・意見受け入れのフローチャートや地域協働一覧の作成ができていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	4人	5人	2人	4人	15人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5人	8人	0人	2人	15人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3人	6人	2人	4人	15人
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1人	6人	4人	4人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のあり方について職員間で意見交換している。 ・利用者、家族からの意見や苦情は記録し、ケアマネに報告すると共に改善し、職員同士にも共有している。 ・意見要望は傾聴したうえで対応策や代替案を提示するようにしている。 ・ボランティアの方々、家族、業者とのコミュニケーションを取るようにしている。 ・町内や地域包括支援センターから近隣住民の困りごとなど情報提供を受けられる様に整備している。 ・町内会のお祭りへ参加。要請はなかったがお手伝いの打診を行った。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・以前入居者が起こしたトラブルがその後運営に反映したのかどうか不明。 ・地域の方から意見や苦情がどの位あるのか把握できていない。 ・地域と協働した取り組みが何にあたるのか理解不足。 ・自分が立ち回る現場のみの事以外はあまり考えられていない。 ・「事業運営」となると管理者や役職者での事で、職員が意見を言える事でない様に思ってしまう。 ・地域と協働した取り組みについて、夏祭りの手伝い以外は積極的に働きかける事ができなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域からの意見、要望、苦情等出された場合、その扱いについてのフローチャート化を行い、把握できる様にする。 ・地域運営推進会議の開催月に行われる全体会議で、地域からの意見、要望、苦情の有無について報告し、議事録以外でもより意識づけできる様にする。 ・地域との協働した取り組みが何かを具体例を用いて理解できる様にし、働きかけていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年5月13日(17:15~18:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 5名(意見確認15名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	11人	2人	2人	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 事業所全体で地域連絡会について内容や目的を理解し参加機会を設ける。地域によって開催状況に相違があるため、WEB等で日程の把握をして今年度は積極的に参加できるようにする。 今後も継続して事業所内での勉強会を開催する。また、外部の研修にも参加していき、事業所全体のスキルアップはもちろん、職員個人個人もスキルアップできるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内、外部、リモート研修など希望する研修に参加でき、職員個人、事業所全体のスキルアップに繋がっている。また、外部研修に参加後は全体会議内で勉強会を開催し、参加できなかった職員にも周知している。 簡素ではあるが地域連絡会について資料を作成し理解に繋がるようにしたが、参加はできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	8人	5人	1人	1人	15人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5人	5人	1人	4人	15人
③	地域連絡会に参加していますか	0人	1人	2人	12人	15人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	7人	6人	0人	2人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> それぞれのスキルアップ、また個人の苦手分野と向き合い、更に知識を付ける為に研修を受け、多方面からの意見や視点に気付くことができスキルアップに繋げる事ができた。 職場内研修の企画、実施をし、認知症ケア、感染対策、虐待について等学べている。 リスクを想定しながら業務にあたるよう心掛け、インシデント報告書作成、直後にカンファレンスを開き迅速に対策を検討し、職員間で共有して有効性があったかを評価している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 地域連絡会について、資料の配布はあったが内容や目的の理解が不足していることや日程の把握ができていなかった為、いつ開催されているのか分からず参加できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 地域連絡会に参加して質向上を目指すため、ホームページ等で情報を集めて内容や目的の理解を深めたり、日程を把握するなどして参加できるように努める。参加した職員は内容を復命するなどして共有できるようにする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年5月27日(17:15~18:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 4名(意見確認15名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	8人	1人	1人	15人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・成年後見制度の対象者が出了時に情報提供や共有できるように自己学習など準備しておく。・虐待等に関する研修回数を多く持ち、会社全体で共通認識、学びが深まるよう努める。・利用者がそばにいる時は申し送りをしないように時間や場所をずらす工夫をする。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・虐待・身体拘束関連の研修が複数回実施され、学びを深められた。・虐待についての勉強会に合わせて職員間でも共通の認識として学びの場を持つことができている。・成年後見制度についての自己学習ができず理解ができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	15人	0人	0人	0人	15人
②	虐待は行われていない	13人	2人	0人	0人	15人
③	プライバシーが守られている	10人	4人	1人	0人	15人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5人	4人	1人	5人	15人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10人	4人	1人	0人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・身体拘束に繋がる可能性がある行動が自分にはないか常に注意して利用者に接している。・言葉遣いや利用者が不快な感じや不穏にならない様、声のトーンを抑える等意識している。・排泄介助時など、羞恥心に配慮した声掛け(声のトーンを小さくする、他者に聞こえにくい様に等)を行っている。・成年後見制度が必要になりそうな利用者へ情報提供した。・個人情報記載してある書類は鍵付きの保管庫にて保管し、不要時はシュレッダー処理をしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・成年後見制度の検討や実際に携わった事が無く、理解ができていない。・普段業務を行う上で成年後見制度を意識する事が少ない。活用する機会がケアマネに頼っている等により理解が不十分。・共用ベッドでの排泄介助時はカーテンを使用し、現環境下で出来る可能な限りの配慮はしているが、個室ではなく隠れる範囲も不十分なため限界がある。・排泄報告や申し送りの場所は別室では無い為、近くに利用者がいるという意識が不足していると思う。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・成年後見制度について自己学習に活用できる資料を配布し、併せて外部講師による勉強会の開催や、外部研修があれば参加できるようにし、伝達講習にて他スタッフへの理解を促していく。・プライバシーについて、引き続き他利用者の前では細心の注意を払いながら職員間の伝達を行い、環境においてはレイアウト変更も視野に、よりプライバシー確保に繋がる様検討していく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 西岡メディカル	代表者	西澤 寛樹	法人・ 事業所 の特徴	グループ法人のサービスと連携し、地域包括ケアシステムの一助となるサービスを展開できる。 地域住民との支え合いを実践している。 作成年月日：令和6年6月26日
事業所名	小規模多機能ホーム かいてき西岡	管理者	鈴木 隆幸		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	1人	1人	1人	2人	0人	3人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も多くの改善計画に取り組みめるよう計画を立て実践する。 個別の課題を解消するために外部研修の年間予定を立て参加機会を設ける。また、事業所内全体で特に弱みと思う内容は内部研修で例年より多く学習機会を持ち、サービスの質向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画で着手可能なものは取り組んだが、計画を綿密には立てられず取り組めないままのものもあった事は課題。 外部やWEBなど個別に研修参加でき、内部研修も予定を立てて様々な内容について学習できる機会が持てた。 	<ul style="list-style-type: none"> 役割として今年度から関わりを持つ事になったので、まだ分からない事ばかりであるため再度評価できるようにしていきたい。 不十分な部分もある自己評価であったが、前向きに取り組む様子が確認できており、やってみてどうだったかを積み重ねられているのは評価できる。 未達成があっても達成に近づけられると思うので、以降も同様に計画、実施を繰り返してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 立案した改善計画を活かすために、各項目最低1つは取り組みめるように早めに計画を立て、少しでも多くの課題が解決できるようにする。 改善計画の中で自分たちだけでは取り組みが難しいものは関係機関にも協力を仰ぐ。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 感染症のまん延を防止するために引き続き衛生対策を行う。 家族の入館面会や町内の会議室使用を再開し、装飾や音、臭いに留意して利用者のみならず入館した方々も不快にならないような環境作りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の検温や消毒、適宜の換気を継続し、感染症罹患者が出てもまん延しないように取り組めた。 季節に応じた装飾や騒音、臭気に留意し続け、家族の入館面会や外出を再開し、交流がし易いようにした。また、町内会の会議室で会議室を使用して頂き、地域住民の出入りも戻りつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節に合った色々な飾りつけがされていて明るい様子がわかる。 来所機会がなかなか確保できず正しく評価するのが難しい項目であった。 感染症のまん延防止は重要であるため、入館となるとハードルも高くなるが、外観からでも良い雰囲気を感じられるような工夫もお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策委員会を中心に衛生面で不備が出ないように環境整備や研鑽機会を設ける。 好評である館内装飾に加え、花を育てるなど外観からも良い雰囲気が出せるようにする。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇や不適切ケア、認知症について学習機会を多く持てるようにし、対人援助への意識向上を図る。 ・運営推進会議での確認やWEBサイト充実を検討し、相談しやすい事業所で居られるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の内容に基づく内部研修を実施し、学習機会を設けて意識向上に繋がるようにした。 ・運営推進会議で地域からの意見を確認し、事業所の取り組み等で質問があった際には答えるようにした。 ・地域とのかかわりについては、近隣の方からのボランティア希望があり受け入れを行った。また、町内会の会議で事業所の会議室の貸し出しを再開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフにいつも明るく接してもらえている。 ・役員になった事で介護事業所があった事が分かったが、他の地区も役員レベルの認識に留まる実状が多い。今後も町内と何らかのかたちで関わりながら少しずつ認知度を高めていく事が良いのではないかと。 ・顔の見える関係性を保っているため、小規模多機能が適しているようなケースは相談しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事やイベントの協力や参加ができるような体制を保ち、地域とのかかわりを継続し、少しずつ認知度が上がるようにする。 ・地域の困りごとを把握できるように運営推進会議等で確認をしていく。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の状況を見ながら行事やレクリエーションの行動規制を緩和し、利用者の意欲や活気が保てるようにする。 ・町内会と連携し、夏祭りなど行事がある際は参加や協力ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は敬老会やクリスマス会など大々的な行事も再開。地域のボランティアも受け入れて利用者の意欲や活気が保てるようにはたらきかけた。 ・夏祭り運営の協力伺いをし、協力は必要なかったが利用者数名を連れて参加し、気分転換を図る事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この項目は全て良くしてもらえていると思う。 ・交流や活動機会の制限は利用者の心身状態に影響が出るため、今後も充実が図れるようにしていきたい。 ・夏祭り参加で地域との関わりを持つなど、かなり外へ出向いているのではと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の充実やボランティアなど地域資源も取り入れながら利用者が楽しみや役割を持てるように支援する。 ・町内の夏祭り参加など、利用者と地域が交流できる機会が持てるように支援する。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域運営推進会議を集合形態に戻し、より情報共有がしやすい状態を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度から地域運営推進会議を集合形態に戻した。書面では体感できない交流が行えたのではないかと感じた。 ・開催報告を職員会議内で行い、議事録も回覧を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議を集合に戻した事で顔の見える関係が構築しやすくなっていると感じる。 ・介護職員も輪番で参加するようにする事で、地域密着型サービスの役割理解に繋がりとつあると感じる。 ・顔を合わせて会議をする事ができるのは、書面に無い良さがあるので今後も可能な限り集合での会議を希望する。 ・運営推進会議では毎回取り組みをわかりやすく示してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き運営推進会議の中で情報交換を行うことや、課題の解消ができるようにする。 ・職員会議で運営推進会議で出た意見、要望、苦情有無について報告することの続け、参加できなかった職員にも共有しやすい状態を保てるようにする。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の防災訓練を再開し、地域の方にも参加を要請する。 ・防災委員会を設立し、防災訓練以外で学習会など企画し、防災意識が高まるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を再開し、地域の方にも参加をして頂けた。 ・BCP策定や防災委員会設立をしたが、本格的な取り組みは次年度に持ち越した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本格的に委員会も動き出す事になるため、必要な時は力を貸して頂きたい。 ・6/25に館内防災訓練を実施。地域住民の方にも参加してもらった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内と連携した防災訓練の継続のほか、防災委員会が中心となり事業所全体で防災意識が高まるようにする。
----------------------------	---	---	--	--